

2002.11

NO.6

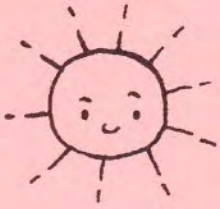
LETTER

目次

- 「清心・清仁ソーラープロジェクト」が始まります .....2
- 理事からの一言 (鈴木 範子)
- 環境まちづくり交流会2002に参加して (農本 真由子) .....3
- だん王児童館に雨水タンクを設置  
(今江 祥太、熊谷 有花) .....4
- 「子ども達と雨水タンクを設置して」 (豊田 陽介)
- おひさま発電所・発電データ .....5
- 誰にでもわかる太陽光発電 (林 敏秋) .....6
- 「冬の省エネ ここがポイント」 (木原 浩貴) .....7



特定非営利活動法人  
きょうとグリーンファンド



## 「清心・清仁ソーラープロジェクト」が始まります!



伏見区醍醐のあけぼの保育園に設置した「おひさま発電所」2号機に続く設置場所が決まりました。

今回の設置場所は、城陽市にある清仁福祉会の2つの保育園「清心保育園」「清仁保育園」で、きっかけは、温暖化防止のために活動しているNPO法人気候ネットワークからのご紹介です。3号機、4号機がほぼ同時に設置される予定で、今からわくわくしています。

この2つの保育園では、昨年気候ネットワークが関わって進めていた「地球の学校」(環境問題を考える講座)が開催されました。その講座のプログラムのひとつである「環境のために出来ることを考えよう」というワークショップの参加者から出たアイデア「みんなでお金を出し合って、ソーラーパネルを保育園に設置したい」というプロジェクトを気候ネットワークがきょうとグリーンファンドに橋渡ししていただいたというわけです。

この2つの保育園は園長先生がご姉妹で、玄米や有機農法の野菜を中心にした給食を長年実施しておられます。生きる基本となる「食」にこだわってこられたなかからの環境

に対する思いは強く、昨年の「地球の学校」開催以降、日常の生活のなかでゴミや水・エネルギーなど環境負荷を減らす取り組みも続けておられます。「地域の発信基地になりたい」という辛川園長先生の思いは、私たちきょうとグリーンファンドのめざすところでもあります。

来年2月ごろまでには、太陽光発電設備(5kw規模)2機と太陽熱温水器3台が設置される予定で、まさに太陽の光と熱を活用する事業と言えます。費用は、清仁福祉会が負担する他に、市民からの寄付・きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」・NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)からの補助金で賄う予定で、普及・啓発に関する事業は気候ネットワークが担当することになっています。

活動を始めてからもうすぐ2年、きょうとグリーンファンドの順調な活動は、みなさまのさまざまなご協力のお蔭です。続けてのご支援をお願いしながら、スタッフは張り切ってこの取り組みを進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



### 『清心・清仁ソーラープロジェクト』に関する寄付のお願い

- 寄付金額 : 1口 3000円  
寄付していただいた方には、サポーター証を差し上げます。  
また、設置する太陽光パネルの裏には寄付していただいた方のお名前を記します。
- 寄付募集期間 : 2002年10月20日～2003年1月31日
- 寄付目標額 : 500万円
- 設備仕様 : 太陽光発電システム (5kw規模) 2機  
太陽熱温水器 3台



今年もいろんな意味で暑い夏でした。

気温が35度とか36度とかいうニュースでは、びっくりしなくなっている自分にびっくりしていたところへ、それどころじゃすまない報道が飛び込んで。

一東電の損傷隠しが防災の日を前に発覚。

老朽化した原発で、よくもまあ事故がおこらず、これまで過ごしてきたものです。

東海村の事故から三年が経ち、JCOの被告に求刑がでたけれど、亡くなった二人は戻らない。

私は理事といっても名ばかりで、きょうとグリーンファンド設立には不勉強なまま、ほとんど出来上がったところへ参加、その後の理事会も仕事が休めず欠席がおおく、おひさま発電所設置の段ともなれば、当日はお祭りだあーとばかりにただの助っ人と、ほとんど役に立ってないなあと、ほんとに情けないかぎり、申し訳なくおもっています。実務をしてくださっている理事の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです。

森のセンターで工事用の電球がついたときの感動。

あけぼの保育園で、発電量をしめすチューリップの花が咲くことのよろこび。

そうしたことを共有できる、多くの人たちがいてくれることに支えられて、あわただしい出勤前、限られたコンセントを抜く日々です。電気の「ゴミ」をすこしでも減らしたい、次の世代の人たちのために。

頼りない私ですが、これからもどうぞ、よろしくおねがいます。

① 環境まちづくり交流会2002に参加して

京都精華大学 人文学部環境社会学科  
農本真由子

私は、6月29日に開催された「コミュニティに自然エネルギーを取り入れるーみんなで作ろうおひさま発電所」に参加出来るとても有意義な時間を過ごせたと思っています。

私は大学で環境問題の勉強をしているのですが、原子力発電の裏側にある、事故や差別などの様々な問題を知って、原発ではなく自然の循環を利用したもっと安心して使える電気を私達は選べないのだろうかと考えていました。そんなときに知ったのがきょうとグリーンファンドの活動です。私にも何か出来ることはないだろうかと思い、あけぼのソーラープロジェクトのお手伝いをさせていただきました(FAXを詰まらせたりしてあまり役に立てませんでした…)あれからあけぼの保育園のおひさま発電所はどうなっているのだろうかと気になっていて、いつかお話を聞きに行きたいなと思っていたので、今回の交流会で法然院とあけぼの保育園の現在の様子や反響が聞けて本当に嬉しかったです。

地域活動の拠点となっており、環境教育にも積極的な法然院・森のセンターでは、今までは自然観察など、自然そのものに関わる活動が多かったのですが、太

陽光パネルをつけた事によって、子供たちにとって人間の活動が自然に与える影響や生活環境を考える新たな機会になったそうです。また、「自然に親しみ、みんなで作る自然をつくる保育」を保育目標の一つに掲げているあけぼの保育園では、園児たちが、毎日発電量の表示パネルを見るのを楽しみにしていて、教室や家庭でも話題にのぼっているということでした。あけぼの保育園では、園児だけではなく教育者のための勉強会を開くなど、園全体で環境教育に取り組んでゆくそうです。

私が話を聞いていて感じたことは、おひさま発電所をきっかけに、こどもたちや周りの人々にも環境に対する意識が広まっているということです。グリーンファンドの活動が、ただパネルを設置するだけではなく、エネルギー問題や、生活を見直すきっかけを生み出していることを聞いて嬉しくなりました。その背景にはたくさんの人の協力やつながりがあって成功出来たのだということも実感した講演会でした。これからもおひさま発電所を通じて地域に環境への関心や人と人とのつながりが生まれてくるといいなと思います。



## 「だん王児童館に雨水タンクを設置」(2002年6月27日)

うずらのライオンズクラブより、ボランティア市民活動応援助成を受けて、だん王児童館へ「雨水タンク」を設置しました。

この児童館へ集う小学生と、きょうとグリーンファンドの出会い、法然院森のセンターに「おひさま発電所第1号」を開設したのがきっかけでした。点灯式に参加、ビデオ作りと次々協力いただきました。

小学生の間に、自然を大切に、ゆっくり見て考える機会をできるだけたくさん持って欲しい・・・との思いを込めて。



### ☆子供たちの感想文

#### 「アメタン」

今江 祥太

はじめ僕は、アメタンを使って何をするのかなと思った。けれど、エコセンターの人に全部説明してもらって、何のために使うのかわかった。

僕たちはアメタンを設置するための作業にとりかかった。僕が作ったのは、初期雨水カットだ。それは、ペットボトルに降り始めの雨をためて、ゴミを取り除く道具だ。僕は、雨を飲んだこともあるけど、ゴミとかいっぱい汚いものが混ざってるなんて知らなかった。だから、これから雨は飲まないようにしたいと思った。ホットボンドを使うのに二人で協力しなければやりにくかった。やっとできあがって取りつけた。僕は、早く雨が降れと祈っていたが、そ

の後雨は降らなかったのが残念だった。ふつうだと、雨はあまり降って欲しくないものだけど、アメタンを取りつけたので、雨が降って欲しいと思う経験ができた。僕は「成功するかな」と思って、雨が降るのを待ちつづけた。とうとう雨が降った。その日は用事があってアメタンを見に行けなかったけど、「どれだけ雨がたまっているかな」と楽しみにしていた。次の日、だん王に行ってみたら、ちょっと雨がたまっていた。作ったとおり、ゴミはペットボトルの下にたまっていた。けれどもれていたのが、残念だった。でもこんなおもしろい体験ができたのは本当によかった。また機会があればやってみたいと思う。

(新洞小学校 6年)

#### 「アメタンがついて」

熊谷 有花

6月27日にだん王児童館にアメタンがついてから、約3ヶ月がたちました。

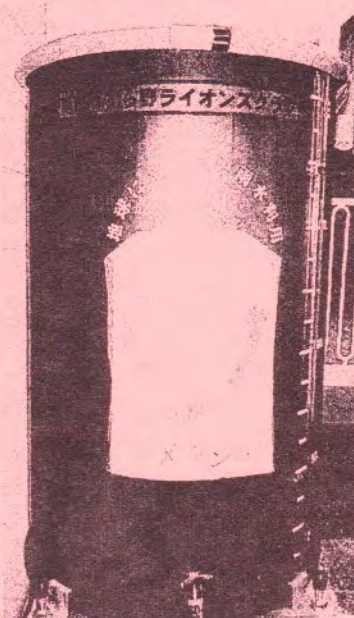
夏休みは特に暑いから、花壇の花に水をたくさんやるので、アメタンの水が役に立ちました。

雨の水を利用することは、あんまり考えてなかったけど、こうゆうことに使えるってわかってよかった。私はアメタ

ンの水がどんな事に使えるかを考えてみました。水まきの水、車を洗うときの水、どろどろの手足を洗うときの水、いろいろあります。アメタンの水を使って、水道の水を使う量を減らしたいと思っています。

アメタンがついて水のことについていろいろわかってよかったです。

(新洞小学校 5年)



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

雨水タンク設置に際してだん王児童館では、子供たちから愛称や、イメージキャラクターを募集して設置の日を待ちました。

数点の中から愛称は「アメタン」に決定。

大きくうでを広げて雨を受け止めるタンクの絵がイメージキャラクターに選ばれました。



## 「子ども達と雨水タンクを設置して」

豊田陽介 (京エコロジーセンター)

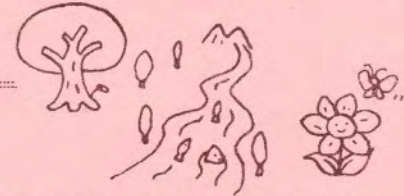
この6月27日、京都市左京区にあるだん王児童館に、雨を貯めるための雨水タンクが設置されました。この日の設置には18人の児童が集まり、皆で一緒に雨水タンクを取りつけていきました。

まず、現在の水資源を巡る状況や家庭での水利用のあり方等についてクイズを交えながら雨水利用について考える学習を行いました。例えば、普段自分たちが使っている水の大半は琵琶湖から来ていることや、一人が1日に200リットル以上の水を使っていることについて、この時、初めて知ったという子がほとんどでした。また、トイレの排水用にも飲むことができる水が使われているということを知り、子ども達は非常に驚いていました。

このように身近な水利用について学び、雨の水を有効活用することの効果やその重要性について理解した後、実際の設置作業に移っていきます。その中では、さらに雨水の特性について理解を深めるためにペットボトルを使い、降り始めの汚れた雨を捨てる簡単な装置を作成しました。何人か

でグループを作りカッターとホットボンドを使ってそれぞれが仕上げていきます。子ども達が「アメタン」と名付けた雨水タンクは200リットルの雨を貯めることができる円筒形のもので外から見ても現在の水位が分かるように工夫されています。この雨水タンクと雨樋を接続するために雨樋を切断し、取水接ぎ手を差し込み、自分達で作った初期雨水除去装置をしっかりと取り付けます。これらの作業は、すべて子ども達の手によって行われていきました。

子ども達も自分たちで設置を行ったことで雨水タンクへの愛着がわき、貯まった雨水をどのように使っていくのかに大きな関心を抱いたようでした。今回のように学習と体験を同時に実施することは、効果的な学習であるだけでなく子ども達の今後の環境行動の活発化にもつながるはずです。そういった意味でこのようなだん王児童館での取り組みは、環境保全への貢献のみならず人材育成という点においても大変意義が大きいものであったと思います。



### おひさま発電所・発電データ

(過去3ヶ月分)



○あけぼの保育園『おひさま発電所2号機』

5kw規模 (02年2月~02年9月)

2002年 7月	553kwh
8月	622kwh
9月	409kwh
累積発電量	3,892kwh

○法然院・森のセンター『おひさま発電所1号機』

4kw規模 (01年3月~02年9月)

2002年 7月	224kwh
8月	179kwh
9月	145kwh
累積発電量	4,399kwh

☆2002年2月10日、あけぼの保育園「おひさま発電所2号機」が発電開始

設備規模もおおきいので、どんどんバリバリ発電しています。

発電すると、表示板のチューリップのお花に、かわいく電気が灯ります。

「きょうは、いくつみたかな？」子どもたちも大注目！！

## ◎誰にでもわかる太陽光発電

太陽電池は、太陽の光があたると電気をコンコンと生み出す魔法の板だと以前にお話ししました。この魔法の板はこのままでは電気として使うことはできません。電気として使うためにはシステムを組んでやらなければなりません。太陽光発電のシステムは大きく分けて次の二つがあります。独立システムと系統連系システムです。

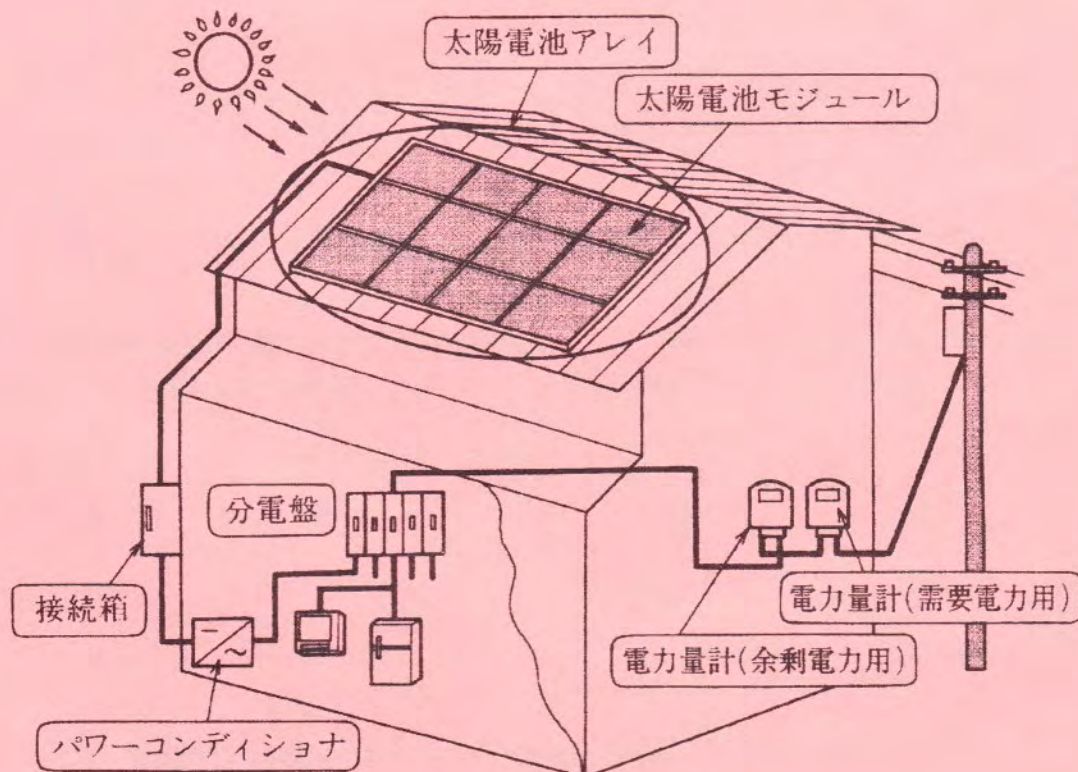
独立システムとは、電力会社（近畿では関西電力）の電線とはつながらず、発電した電気をバッテリーなどに蓄えて使うシステムです。例えば電力会社の電気がきていない山小屋や灯台、街灯、交通標識などに利用されています。最近では「ベランダで太陽光発電」という言葉も生まれ、パネル一枚で発電した電気を使うというのが静かなブームになっています。また、阪神大震災以降、独立システムは非常用電源としても見直されはじめています。この独立システムについてはまた別の機会に詳しくふれたいと思います。

次に「系統連系システム」についてお話しします。

## 「太陽光発電のシステム」

林 敏秋（ワーカーズコープ エコテック）

ちょっと難しい言葉ですが、電力会社の電線とつながっているシステムのことです。系統とは電力会社の電線網のことであり、それに連系（つなぐ）という意味です。通常の住宅用太陽光発電システムはこの系統連系タイプです。太陽電池で発電した電気は直流です。家庭などで使う電気は交流ですから、連系タイプでは直流から交流に切り替えるパワーコンディショナーという機器が必要となります。当たり前のことですが太陽電池は昼間しか発電しません。昼間、発電した電気はまずその家で使い（自家消費）、余った分は電力会社に売ります。早朝や夜間など足りない時は電力会社から買います。この売り買いは屋外につけられた電力量計で見ることが出来ます。この目で見えるというのが大切で、少しでも電気を売ろうという気持ちが働き、省エネに励み出すとされています。私は、住宅に取り付けられたシステムを「屋根の上の手作りエネルギー菜園」と呼んでいます。



住宅用太陽光発電システム

## 「冬の省エネ ここがポイント！」

木原浩貴 (気候ネットワーク スタッフ)  
財団法人 省エネルギーセンター 省エネルギー普及指導員

夏には「冷房には電気をたくさん使うので省エネしましょう！」とよく呼びかけられますよね。しかし、意外なことに、家庭から排出される二酸化炭素排出量を季節ごとに比較すると、もっとも排出量が多いのはなんと冬なのです。冬には暖房・給湯などで非常に多くのエネルギーを消費します。逆に言えば、工夫次第で冬は省エネのチャンスになります！！

冬の省エネのポイントは機器をうまく選択すること。冬の暖房でもっとも効率の良い機器はなんといっても「こたつ」です。あんな小さなスペースを暖めるだけで、快適に暖をとることができます。ストーブなど他の暖房器具と併用する場合でも、それによって部屋の設定温度を下げるができるならば省エネにつながります。こたつは日本が世界に誇る(?) 大変効果的な省エネ製品です。

では効率の悪い機器は何かというと電気ストーブやセラミックファンヒーターです。電気は、発電の時にもととの燃料が持っているエネルギーの6~7割を熱として捨ててしまっています。そんな電気を熱に戻して使うのはかなりの無駄。それならば直接、灯油やガスを燃やして熱を得るほうが効率的です。ちなみに灯油ストーブとガスストーブ、どちらが二酸化炭素排

出量が少ないかということとガスストーブです。ガスの方が灯油よりも効率良く燃えるためです。

では、電気のエアコンはどうでしょう。実はエアコンは熱を作り出す機械ではなく、室内と室外の熱をやり取りする機器で(ヒートポンプと呼びます) 大変効率が良いのです。部屋全体を暖める場合には、ガスストーブなどより二酸化炭素排出量は少なくてすみます。用途によってうまく機器を使い分け、無理に我慢することなく省エネに取り組んでください。

また、暖房の時には暖かい空気は天井付近にたまりがちです。天井の空気が足下より10℃も高いこともあります。足下も暖められるよう、うまく空気を回す工夫をしてみてください。時には扇風機で空気をかき混ぜることも効果的です。その他、エアコンのフィルターをこまめに掃除する、厚手で長めのカーテンを使って窓から熱が逃げるのを防ぐ、暖房の設定温度を低く設定するなど、簡単にできる努力はぜひ継続してください。

もしエアコンを買い替えることがあれば効率の良い製品を選ぶことを忘れずに！



参考文献・資料 「暮らしの中のエネルギー」 岩船由美子 電気学会  
「京都市エコチャレンジ」 京都市

### ◇◇◇ 認定・賞をいただきました ◇◇◇

- 2002年5月27日 ♥京都府より、「エコ京都21」の認定を受けました。
- 2002年10月15日 ♥京都市より、環境共生型都市京都推進特別感謝状をいただきました。
- 2002年10月17日 ♥ソロプチミスト京都一桃華より桃華賞をいただきました。

□きょうとグリーンファンドのメンバーになるには？

- 会員は、会費をおさめ会の運営を支援します。「NPO 法人社員」にあたります。
- サポーターは、ファンド(基金)への寄付のみの参加です。

I. まず、会員かサポーターかをお選びください。 (入会申し込み書は事務局まで)

会員	10000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。 ※会員は「NPO 法人社員」として会の運営に参加していただきます。
サポーター	6000 円/年	催し物のご案内、会報(年3回程度)をお送りします。

II. 次に、払込みの方法をお選びください。

郵便振替 (年払い)	☆下の口座に直接振り込んでください。年1回(入会月) [郵便振替口座 00930-6-157817 きょうとグリーンファンド]
郵便局からの 自動払い (年払い)	◆会員…年1回 10000 円(入会月)が引き落とされます。 ◆サポーター…年1回 6000 円(入会月)が引き落とされます
郵便局からの 自動払い (月払い)	◆会員…年1回 4500 円(入会月)と、月々 500 円が引き落とされます。 ◆サポーター…月々 500 円が引き落とされます。

★ろうきん口座からの自動払いの方法もあります。この場合手数料はかかりません。詳しくは事務局にお問い合わせください。

ぐりふあん日誌

2002

- |  |  |
|--|--|
| 5.07 事務局会議                                     | 9.20 「清心・清仁ソーラープロジェクト」説明会<br>(清仁保育園にて)         |
| 5.26 理事会                                       | 9.26 京都府議会へ「本会議でのエコスタイル実践<br>に関する要望書を提出        |
| 5.27 京都府「エコ京都21」認証交付式出席                        | 9.27 京都市長へ「自動販売機(届出済シール、<br>不添付)撤去」に関する申し入れ書郵送 |
| 6.09 森のセンター「自然エネルギー教室」開催                       | 10.08 拡大事務局会議                                  |
| 6.20 ぐりふあんレター発送                                | 10.16 あけぼの保育園第3回環境セミナー開催                       |
| 6.27 だん王児童館、雨水貯蔵タンク設置<br>(京都うずらのライオンズクラブより助成金) | 10.17 ソロプチミスト桃華賞、授賞式                           |
| 6.29 環境まちづくり交流会参加                              | 10.18 事務局会議                                    |
| 7.10 事務局会議                                     | 10.21 理事会                                      |
| 7.17 精華大学インターシップ受入れの打ち合せ                       | 10.23 京都ライオンズクラブとの打ち合せ                         |
| 7.20、21 クリーンエネルギーフェスタ展示、参加                     |  |
| 7.24 清仁福祉会と市民共同「おひさま発電所」<br>設置に関して話し合い         |  |
| 9.09 あけぼの第2回環境セミナー開催                           |  |
| 9.17 理事会                                       |  |



事務局

特定非営利活動法人きょうとグリーンファンド

〒604-8155  
京都市中京区烏丸通錦西入る占出山町 308  
ヤマチュウビル2F (火～金 13:00～17:00)  
TEL/FAX 075-241-0550  
E-mail grifan@h7.dion.ne.jp  
ホームページ <http://www.h3.dion.ne.jp/~kyoto-gf>

